

かなざわ 市議会だより

kanazawa city council

No.306

令和6年(2024年)
11月1日発行



子ども議会教室の様子

発行/金沢市議会

編集/議会広報委員会

〒920-8577 金沢市広坂1丁目1番1号

TEL (076) 220-2392 FAX (076) 260-7190

〈ホームページ〉

[金沢市議会](#) [検索](#)

または、こちらをご覧ください。⇒



目次

- ・ 9月定例会議の概要等 …………… P.2
- ・ 本会議の発言から (9月議会) … P.3～P.14
- ・ 審議結果、議員別賛否一覧 …… P.15～P.16
- ・ 常任委員会の活動状況、行政視察 …… P.17
- ・ 委員会構成、特別委員会の活動状況 …… P.18
- ・ 子ども議会教室開催報告 …………… P.19
- ・ 議会日誌、12月定例会議の日程 …… P.20

令和6年度 金沢市議会 9月定例会月議会の概要

令和6年度金沢市議会9月定例会月議会が、9月2日から17日までの16日間開催されました。

◇9月2日 議案上程・提案理由説明

初日2日には、村山市長から、能登半島地震関連に係る経費や、地域経済の活性化に係る経費の追加が主な内容となる総額34億3,166万4千円の補正予算案や、金沢市空き家等の適切な管理及び活用の推進に関する条例の一部改正などの条例案のほか、森本地区新保育所建設工事に係る請負契約の締結などの議案が提案され、市政の概況とともに提出議案の説明が行われました。

◇9月10日～12日議案上程・質疑・一般質問

10日には、市長から能登半島地震復興基金に係る追加の議案が提案されました。また、10日から12日までの3日間にわたる本会議では、23人の議員が質疑や一般質問を行いました。12日には一般会計等決算審査特別委員会及び企業会

計決算審査特別委員会が設置され、両委員会に付託された令和5年度決算に係る議案1件及び認定2件は継続して審査することとなりました。

◇9月13日 委員会審査

13日には、5つの常任委員会が開催され、議案の審査が行われました。

◇9月17日 討論・採決

最終日の17日には、討論、採決が行われ、この日追加提案された人事案件を含め、市長提出の議案各件（決算関係の議案を除く）は全会一致または賛成多数をもって、いずれも原案のとおり可決または同意されました。議員提出の議会議案は8件が可決、5件が否決され、請願1件は採択されました。

市長の施政方針（要旨）

◇能登半島地震への対応

液状化が発生した粟崎地区において、土地の動態観測を実施し、最良の復旧工法を選定する。神谷内町葵地内の盛土造成地では、地盤滑動のおそれがあるため、変動予測調査を実施し対策を講じる。能登被災地への支援として、公費解体に伴う災害廃棄物や木くずなど可燃ごみの受入れも行う。

◇地域経済の活性化

金沢テクノパークの最後の区画の分譲予定者を認定したので、財産処分議案を諮るほか、進出企業による設備投資の動きを支援し、産業の多角化・高度化と雇用の創出に資していく。金沢発のイノベーションを創出するため、場所にとらわれない働き方をするクリエイターやICTエンジニアの誘致に取り組む。

◇スポーツ文化に関して

オリンピックで活躍した本市出身の選手に金沢市スポーツ大使を委嘱し、各種スポーツイベン

トへの参加やPRなどを通じ、スポーツ文化の振興や魅力発信に助力してもらう。第10回の記念大会となる金沢マラソンでは、参加定員の拡大や能登被災地ランナー枠の設置など、賑わいをもたらす市民マラソンとして内容を拡充させる。

◇都市づくり

都市再生緊急整備地域の指定に向け、準備協議会で議論を進め、年度内の取りまとめを急ぐ。片町四番組海側地区再開発事業では、都市計画決定を経て、基本設計と事業計画の策定に着手しており、事業区域西側地区での無電柱化を進めるなど、整備を加速させる。

◇「金沢方式」の在り方

金沢方式が地域で果たしてきた役割をまちづくりの文化として将来にわたり継承すべきとの共通認識のもと、地元負担感増大や市民への周知不足の課題もあるため、丁寧な議論を進める。



本会議の 発言から

9月10日(火)、11日(水)、12日(木)にかけて、23人の議員が質疑や一般質問を行いました。

9月10日(火)

- ・福田 太郎 議員 (自民党) P. 3
- ・栗森 慨 議員 (みらい金沢) P. 4
- ・源野 和清 議員 (公明党) P. 4
- ・玉野 道 議員 (創生かなざわ) P. 5
- ・広田 美代 議員 (日本共産党) P. 5

9月11日(水)

- ・野本 正人 議員 (自民党) P. 6
- ・黒口啓一郎 議員 (みらい金沢) P. 6
- ・山本ひかる 議員 (公明党) P. 7
- ・荒木 博文 議員 (自民党) P. 7
- ・熊野 盛夫 議員 (創生かなざわ) P. 8
- ・森尾 嘉昭 議員 (日本共産党) P. 8
- ・宇野 裕基 議員 (自民党) P. 9
- ・川島 美和 議員 (みらい金沢) P. 9
- ・北 幸裁 議員 (自民党) P.10

9月12日(木)

- ・柿本 章博 議員 (自民党) P.10
- ・新谷 博範 議員 (みらい金沢) P.11
- ・高務 淳弘 議員 (創生かなざわ) P.11
- ・道上 周太 議員 (自民党) P.12
- ・山下 明希 議員 (日本共産党) P.12
- ・坂本 順子 議員 (みらい金沢) P.13
- ・清水 邦彦 議員 (金沢さくら会) P.13
- ・森 一敏 議員 (みらい金沢) P.14
- ・高 誠 議員 (自民党) P.14

※掲載している内容は、発言した議員本人が作成した原稿をもとにしています。



自由民主党金沢市議員会
福田 太郎 議員



今後の財政運営について

問 今補正予算には道路や雨水幹線などの公共インフラや災害復旧に多額の予算が計上されている。公共工事は地域経済にとって重要なものであり、未来共創計画におけるハード整備の具現化は必要不可欠であるが、来年度以降の財政運営についての見解を聞く。

答 国庫補助金のかさ上げや交付税措置のある有利な市債の活用で、将来負担の影響は押さえられる。公共事業費の計画値は、これまでの200億円規模から260億円規模に拡大すると見込んでいるが、積立基金の有効活用など財政上の工夫を凝らし、健全な財政運営に努める。
(市長)

金沢方式について

問 公民館などの整備費などを地域が負担する「金沢方式」の周知不足が指摘されている。地域コミュニティの持続、発展のために、金沢方式に対する市民の意識醸成が必要だと考えるが、あり方検討懇話会のスケジュールと併せ、考えを聞く。

答 金沢方式は、地域の連帯意識を強め、協働を育む上で大きな役割を果たしており、意義や目的を広く周知し次の世代に継承していくためにも、丁寧な議論が必要であると考えている。11月中に第3回の懇話会を開き、来年1月中に提言を取りまとめたい。
(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 補正予算について
- 2 都心軸の再整備について
- 3 金沢方式の在り方検討について
- 4 中小企業の振興について
- 5 学校給食費無償化について
- 6 金沢美術工芸大学跡地について



みらい金沢
栗森 慨 議員



子育て支援に係る諸課題

問 本市の子育て支援策で、県内他自治体と比較し見劣りする事柄である学校給食費の今後の見通しを聞く。加えて、県内で唯一18歳までの全ての人を対象にしている子育て支援医療費助成制度を、18歳までの全ての人を対象にすることについて、市長の見解を聞く。

答 今後の給食費の在り方については、学校給食費懇話会の提言を踏まえて次年度以降の予算に反映させていく。(教育長)

子育て支援関係の医療費助成や給食費など自治体間で差があることに違和感があるが、本市の子育て支援医療費助成については、財源の確保が前提となる。子育て支援医療費助成以外にも様々な形で子育て支援に取り組んでいきたい。(市長)

パートナーシップ構築宣言について

問 パートナーシップ構築宣言は、企業が発注者の立場で自社の取引方針を明確にするもので、企業の信頼性、社会的責任の向上につながる宣言だが、この宣言に対する市の見解を聞く。

答 国が推奨するパートナーシップ構築宣言は、サプライチェーン全体の付加価値向上や望ましい取引慣行、賃上げにもつながる。金沢市公式ホームページで制度概要を掲載し、金沢商工会議所とも連携して制度の周知に努めていく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 補正予算と工業団地について
- 2 子育て支援に係る諸課題
- 3 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
- 4 金沢市創エネ・省エネ・蓄エネ設備設置費補助について
- 5 パートナーシップ構築宣言について



公明党金沢市議員会
源野 和清 議員



新たな納骨スタイル検討事業費と合葬墓について

問 令和4年度9月定例月議会では、類似都市や周辺市町の管理運営方法などの実態調査や関係団体との意見交換を進めていく旨の市長答弁があり、本年度は検討費が計上されている。その内容と今後の合葬墓整備に対する所見を聞く。

答 今後の人口及び世帯構成などの動向を踏まえた墓地需要の把握調査に加え、先進的な自治体の納骨形態などの事例調査を通じて、市営墓地の在り方や方向性を検討することとしている。多死社会の到来や少子高齢社会の進展により、お墓や葬儀に対する市民ニーズが多様化しており、今後、合葬墓も納骨スタイルの一つとして検討する必要があると考える。(市長)

物価高騰対策について

問 本市では、学校給食費、保育所等における副食費の食材費高騰分を全額公費負担として、5億1,980万円を本年度予算に計上し、家計負担を増やさないよう本市独自の物価高騰対策として取り組んでいるが、次年度の考え方を聞く。

答 令和4年度から物価高騰分を全額公費で補填しているが、食材費の高騰が長引くことに懸念を感じている。学校給食の在り方について検討が進められており、この動向を見極めながらかなざわ子育て夢プラン策定作業の中で検討していく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 災害時の避難体制と保健衛生環境の整備及び福祉的な支援について
- 2 マイナ保険証利用促進のための広報活動の取組について
- 3 合葬墓について
- 4 物価高騰対策について
- 5 リチウムイオン電池などの回収方法について



創生かなざわ
玉野 道 議員



湯涌温泉のプロモーション効果について

問 湯涌温泉のプロモーション効果を最大化するための取組について聞く。

答 湯涌地区においては、湯涌温泉観光協会を中心に、地元事業者や市有施設が連携し、温泉、氷室開きを始めとする四季折々の伝統行事や豊かな自然環境など、地域が持つ様々な魅力を生かしたコンテンツ造成に取り組んでいる。このような取組を通じた湯涌温泉のブランド力向上と新たな顧客の獲得が重要と考えており、引き続き、地元事業者と連携し、首都圏等でのプロモーションなど様々な機会を通じて湯涌温泉の魅力発信に取り組んでいきたい。（市長）

公立中学校の部活動改革について

問 公立中学校の部活動改革において、学校や地域の実情を踏まえて進めることが重要だが、現時点での本市の取組状況と課題について聞く。

答 本市では、休日の運動部活動の地域移行に向けて、来年5月から、柔道部を対象としたモデル事業を開始したところである。また、先般、運動部活動地域移行検討協議会を設置したところであり、9月には第1回目の会議を開催し、活動場所や指導者の確保、モデル事業を通して見えてきた課題やその解決策など、今後の部活動の地域移行の方向性などについて検討を進める。一方、文化部活動についても、アンケートにより、活動状況や課題等を調査・整理することとしており、引き続き、教育委員会と連携を図りながら、地域移行に向けた取組を着実に進めていく。（市長）

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 「新たなクールジャパン戦略」と未来共創計画に関して
- 2 公立中学校の部活動改革と産業教育に関して



日本共産党金沢市議員団
広田 美代 議員



学校給食費（保護者負担分）について

問 学校給食費（保護者負担分）について学校給食費懇話会が開かれ、市長はその提言を受けて検討するとしているが、市長には値上げなんてとんでもないという市民の声が届いていないのか。今こそ無償化すべきだが、どうか。

答 学校給食費懇話会が検討している中で、私がどうすべきか言うのは議論に口をはさむことになるので、議論の結果を待ち、その提言を踏まえ明年度以降の予算に反映させたい。（市長）

金沢方式の根拠や法的な整理について

問 金沢方式の仕組みや地元負担割合に関する法律や条例、要綱などはあるのか。また、地方財政法第4条の5における「寄附金を割り当てて強制的に徴収してはならない」との条文に本市は反していないとするが、地元や住民にとって寄附をしないことで不利益になる心理的圧迫もなく、寄附がなくても事業は成立するという解釈でよいか。

答 金沢方式について明記した条例はなく、それに基づいた要綱もない。公民館・児童館の整備については、設置を望んでいる地域の総意を最大限尊重し、地元負担が生じることを了承した上で事業を進めているため、了承がない限り市は事業に着手することはない。着手してからも地域と協議を重ねながら進めており、これまで寄附が行われなかったこともない。（市長）

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 2024年能登半島地震被災者支援について
- 2 市民の命と生活を守る対策について
- 3 金沢方式について



自由民主党金沢市議員
野本 正人 議員



金沢有松日本郵政宿舎跡地活用について

問 南部地区の三馬小学校、三馬保育所、教育プラザ富樫の3施設はどのような課題を有し、なぜ一体的な整備が必要なのか、ビジョンを聞く。

答 三馬小学校が築56年、三馬保育所が築53年、教育プラザ富樫が最も古く築63年が経過し老朽化が課題であり、施設の建て替えが急務である。また、いずれも子どもの教育・福祉に関する施設であることから、2つの用地を活用して時期を合わせ、一体的に整備することがまちづくりにおいても最も有効であると考え、未来共創計画の重要施策に南部地区における教育・福祉施設の再整備を掲げた。(市長)

本市の新しい交通システムについて

問 北陸鉄道石川線存続の意義をどのように受け止めているのか。また、県都の首長として、県や関係自治体との調整にリーダーシップを発揮してもらいたいと願うが、所見を聞く。

答 北陸鉄道単独での運行継続が難しい中で、国と県沿線市町が連携して支援することで、その存続だけでなく利便性を向上させる取組の実施を担保できることとなったのは、大きな意義がある。今後は、地域の財産としてより一層利便性を高め、引き続き自らが先頭となって沿線自治体や北陸鉄道とともに公共交通中心のまちづくりを進めていく。(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 金沢有松日本郵政宿舎跡地活用について
- 2 本市の新しい交通システムについて
- 3 金沢市の姉妹都市交流事業について
- 4 障害者に対する就労支援について



みらい金沢
黒口 啓一郎 議員



小規模河川での水位計の設置検討を

問 新たな水害ハザードマップが作成・配布され、小規模河川などの水害リスクが新たに示されたが、市の小規模河川があふれる危機を知る手だてとして、水位計や氾濫のおそれをキャッチするセンサーを設置し、市民にリアルタイムで周知できる仕組みを検討できないか。

答 防災上、水位監視が重要な箇所は「かなざわ雨水情報」にて水位情報の提供をリアルタイムで行っている。その他の小規模河川の情報提供については、河川改修の状況や過去の浸水実績などを踏まえ、河川ごとに必要性について今後研究していく。(市長)

避難所の衛星携帯電話の設置見直し

問 避難所に備えた衛星携帯電話は、線状降水帯が発生するほどの豪雨となった場合、避難所の1階に設置されていると水没のリスクがあり、連絡手段の確保に懸念があるが、現状で問題はないのか。

答 本市が指定する避難所に配備した衛星電話は、一部の避難所で浸水が想定される箇所に設置されていることは把握している。施設の構造上、設置せざるを得ない避難所もあるが、今後可能な限り対策を講じていく。(危機管理監)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 異常気象の影響
- 2 デジタル地域通貨、行政ポイントの検討
- 3 市有施設の活用
- 4 インフラ整備
- 5 防災・減災の促進
- 6 広報戦略



公明党金沢市議員会
山本 ひかる 議員



地域分散型の避難者支援拠点について

問 避難者が立ち寄りやすいように、金沢市社会福祉協議会が開設している「あつまらんけ〜のと」のような場所を、地域に分散して開設していくとのことだが、各地域での設置、運営、準備についてはどのような状況か。

答 現在、金沢市社会福祉協議会が、地区社会福祉協議会などの地域団体と協議を行っており、来月下旬から泉野地区など4か所で開催する予定である。その他の地区も準備が整い次第、順次開催していくと聞いている。

(福祉健康局長)

認知症ケア技法「ユマニチュード」について

問 近頃、介護や看護の現場でユマニチュードという認知症のケア技法が注目されており、症状の軽減や家族介護者の負担感の低下などの効果もあるとされている。本市でも介護する家族をサポートするため、ユマニチュードを学べる機会をつくれませんか。

答 本市では、認知症の人や家族が気軽に立ち寄れる拠点として、今年7月に認知症地域支援センターを開設し、関係機関と連携しながら、専門相談や情報発信等についてモデル実施している。今後の利用状況を見ながらユマニチュードについても、認知症のケア技法の一つとして紹介していきたい。

(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 本市の被災者支援について
- 2 災害時協力井戸について
- 3 プレコンセプションケアについて
- 4 認知症の人に寄り添うケア技法「ユマニチュード」について
- 5 バス運転士不足について



自由民主党金沢市議員会
荒木 博文 議員



旧馬場小学校の跡地利用について

問 本年廃校となった馬場小学校跡地の活用については、地元も大変関心を寄せているが、検討の年次スケジュールを聞く。



旧馬場小学校

答 旧馬場小学校の校区は豊かな自然と城下町の特徴を色濃く残しており、本市にとって重要な位置にある。利活用については、まちづくりに関わる影響や地域の活性化の観点から、市全体で検討する。教育財産としての活用も含め、地域の意見も聞き、できるだけ早期に方向性を定めたい。

(市長)

大人のひきこもり、8050問題の実態について

問 本市がこれから目指す本人視点での対応や、親亡き後の安心をどうつくるのか、具体的に想定していることを聞く。

答 問題が複雑化・複合化する中で、地域包括支援センターによる高齢者支援と関連させながら、支え合いソーシャルワーカーによる対応や、心理士による心の整理の助言など、一体的な支援に努めている。国の指針も参考に、人としての尊厳を守り、本人や家族の意思を尊重した支援を進めたい。

(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 「大人のひきこもり」と「8050問題」の実態について
- 2 産後ケア事業から見える出産環境の安心について
- 3 社会変化に呼応した観光施策の展開について
- 4 まちなかの小学校跡地活用について



創生かなざわ
熊野 盛夫 議員



会計年度任用職員のモチベーションアップに特別有給休暇を

問 今年度より、再試験による会計年度任用職員の継続雇用が可能となった。報酬面では期末手当に加え、勤勉手当が支給されることとなり、モチベーションが上がったとの声を聞く。さらなるモチベーションアップのために、正規職員が研修等のために与えられている特別有給休暇を、会計年度任用職員にも与えられないか。

答 本市の会計年度任用職員の休暇制度は、国や県に準拠してきており、市独自に新たな休暇制度をつくることは考えていない。
(総務局長)

学校給食費無償化について

問 先月、第1回学校給食懇話会が開催されたが、地元紙に「金沢市給食費値上げ議論」と大きく掲載され、驚いた多くの市民からの声があった。そこで、市公式LINEを活用し、懇話会での議論や示された資料等も紹介する形で、広くパブリックコメントを求めているかどうか。

答 学校給食費の在り方における食材にかかる実費見合いの料金については、市税等の賦課徴収や使用料等と同様でパブリックコメントにはなじまないと考えている。懇話会開催に当たり、有識者のほか、保護者や学校関係者も委員として参画しており、適切に対応されていると捉えている。
(市長)

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 本市職員の雇用状況について
- 2 農村RMOについて
- 3 生活保護について
- 4 学校給食費無償化について
- 5 子ども議会について



日本共産党金沢市議員団
森尾 嘉昭 議員



米の品薄状況と価格高騰への対策

問 店頭に十分な米が出回るように緊急対策が求められているが、国や県に対し、必要な手だてを求める考えはないか。

答 米の流通に関しては、国において出荷・在庫等の状況を把握し、関係団体への働きかけや情報発信をしていくこととしており、市としては、その状況を注視していく。
(市長)

学校給食費の無償化について

問 県内11市において、無償化していないのは、野々市市と金沢市だけとなっているが、市長の見解を聞く。

答 国の指導により全国一律かつ恒久的に実施されることが望ましく、加えて多額の財源を要することから、現時点では学校給食費の無償化は考えていない。
(市長)

無償化開始	(2024年6月現在)
金沢市	
白山市	R6年4月中学校無償化
小松市	R5年4月小中学校無償化
加賀市	R4年2学期から 小中学校無償化
野々市市	「要望を重く受け止める」 市長答弁
能美市	R5年2学期から中学校、 3学期から小学校無償化
七尾市	R5年4月小中学校無償化
かほく市	R6年2学期から中学校、 小学校も検討中
輪島市	R4年2学期から中学校、 R5年4月小4～6、2学期から小1～3無償化
羽咋市	R5年までに中学校、 R6年4月小中学校無償化
珠洲市	R6年4月小中学校無償化

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 米の品薄状況について
- 2 能登半島地震対策について
- 3 金沢市中央卸売市場の現在地建て替えについて
- 4 都市再生緊急整備地域の指定をめぐって
- 5 学校給食について



自由民主党金沢市議員会
宇野 裕基 議員



子ども会未加入児童への対応について

問 町会に加入していないと子ども会活動に参加できない現状がある一方で、マンションごと町会に加入していないケースも多くの地域である。これらの子どもたちは子ども提灯太鼓行列やラジオ体操などに参加できない。金沢市への愛着や誇りを育む意味でも、全ての子どもたちに参加する機会を提供できるように対策を講じるべきではないか。

答 子ども会主催行事は、子どもたちの安全確保のため、保険加入が必須であり、子ども会未加入者の行事への参加は難しい。ただ、地域の子ども会活動を多くの保護者に周知し、理解を深めるための手だてを市子ども会連合会とともに考えたい。
(市長)

小中学校の運動場や体育館の地域開放時における安全性について

問 小中学校の運動場や体育館の地域開放について、先日滋賀県で児童と高齢者の接触事故があった。不幸な事故は未然に防ぐ努力をする必要があると思うが、教育委員会の考えを聞く。

答 本市では、地域の子どもの育成に関する活動等を行う場として、学校施設開放事業を行っており、児童・生徒が学校内にいる時間帯には、学校施設を利用しないように調整を行っている。また、万が一の事故に備えるため、学校施設を利用できる条件として、保険に加入することを利用団体に義務づけている。事業を継続していくために、意義や事故防止の取組を保護者に対して周知していきたい。
(教育次長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 持続可能な金沢市の子ども会活動のために
- 2 金沢ボランティア大専修生の活動支援に向けて
- 3 小中学校の運動場や体育館の地域開放時における安全性について



みらい金沢
川島 美和 議員



ハラスメントについて

問 カスタマーハラスメントは、心身や尊厳を傷つけ、放っておくと健康不良や精神疾患を招くこともあるため、労働者を守る上で相談や訴えの多い業種への対策セミナーなどが必要と考えるが、本市の考えを聞く。

答 社会保険労務士が顧客等からの不当な要求など、著しい迷惑行為に関して事業者からの相談に応じているほか、市民相談窓口では、弁護士による相談も行っている。事業者からの要望が高まれば、対策セミナーの開催を含め、さらなる対策を検討していく。
(市長)

ペットと共生するまちづくり

問 ペットとの防災教室はペットと暮らす人にとって重要である。ペットにも防災を求める防災教室などの必要性について本市の見解を聞く。

答 ペットを対象とした防災セミナー開催の必要性は非常に高いと考えており、新たな試みとして、9月に開催する動物愛護フェスティバルにおいて、石川県救助犬協会連合会の協力ですべて災害に備えたペットの訓練「フレンドリードッグテスト」を開催する。
(福祉健康局長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 ハラスメントについて
- 2 女性特有の健康課題について
- 3 多頭飼育問題について
- 4 ペットと共生するまちづくり



自由民主党金沢市議員会
北 幸裁 議員



犯罪被害者等支援条例制定について

問 本年度、条例制定に向けた検討会を開いているが、被害者に対する支援内容と条例制定に向けたスケジュールを聞く。

答 ワンストップサービスや経済的負担の軽減、日常生活の支援などを検討し、12月定例会議会での条例案の上程に向け準備したい。
(市長)

金沢市立病院再整備基本計画について

問 新病院移転を控え、市立病院にとって今が非常に大切な時期だが、病院再整備基本計画の策定に対する市長の思いと進捗を聞く。

答 とても重要な段階に来ており、9つの部門に分けて検討を進めている。整備費用や事業スケジュールなど年度内に策定したい。職員が働きやすい環境と地域住民との交流の場、医療と福祉、健康づくり、子育てとの連携など市立病院ならではの特色を出し、これまで以上に市民に親しまれ、患者に選ばれる魅力ある病院を目指したい。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 金沢の沿革について
- 2 高尾城跡詳細調査と市史跡指定について
- 3 公共交通利用キャッシュレス決済導入について
- 4 都心軸のバス専用レーンの休日や時間帯の拡大に向けた社会実験について
- 5 2024年問題と運転手不足について
- 6 モビリティハブ整備に向けた基本設計の方向性と進捗について
- 7 犯罪被害者等支援条例制定について
- 8 使用済み紙おむつ再資源化事業について
- 9 金沢市立病院再整備基本計画について
- 10 能登半島地震発生と北陸新幹線敦賀延伸を経ての本市への来訪者数や観光客数の変化に関する調査、分析について
- 11 ベビーファーストデーやフラットデーについて
- 12 北朝鮮拉致問題について



自由民主党金沢市議員会
柿本 章博 議員



地域コミュニティ施設の再建に向けた能登半島地震復興基金の活用について

問 県が設置した復興基金の活用について、県との調整の状況と、地域コミュニティ施設再建への補助率について聞く。

答 基本メニュー事業での支援水準に差が生じないように、市町独自の支援拡充は原則できないなどの活用方針が示された。寺社等を含む地域コミュニティ等の再建に係る補助については、熊本地震の例より補助率を引き上げる形で補助率4分の3、補助上限1,200万円とされた。
(市長)

本市施設入場料の「二重価格」導入について

問 市民と観光客等で施設入場料に差を付ける「二重価格」の導入について市長の考えを聞く。

答 差別につながることやイメージの悪化、対象者確認時の事務負担増など、課題が多いと認識している一方、施設運営に係る負担の適正化という観点から検討が必要と考えているため、他都市の動向を注視していく。
(市長)

【質問事項】（一問一答方式）

- 1 金沢方式の見直しについて
- 2 地域コミュニティ施設の再建に向けた能登半島地震復興基金の活用について
- 3 金沢スタジアムへのアクセスについて
- 4 本市のデジタル戦略とデジタルカードアプリ カナカについて
- 5 本市施設入場料の「二重価格」導入について



みらい金沢
新谷 博範 議員



消防団の地域割について

問 現行の消防団は、戦後 80 年を迎えるにもかかわらず、旧態依然たる地域割により、維持することが難しくなっている。世帯数や管轄面積・区域割に矛盾を起しているため、地域防災の観点からは是正が必要ではないか。

答 時代の変遷に伴い、都市形態や生活様式が大きく変化してきたこと、さらに、世帯数減少や住民意識の変化もあり、消防団員確保が難しくなっている分団があると認識している。消防団を将来にわたって継続させるため、管轄区域見直しや消防分団統合なども、今後は重要な選択肢の一つになってくる。(消防局長)

現兼六小学校舎の活用について

問 来年度、兼六小学校は、旧小将町中学校舎に移転を控えている。移転後の校舎については、社会福祉法人第三善隣館が施設建て替えまでの一時活用を要望してきているが、地元要望を踏まえた金沢市行政の速やかなる手続に対して見解を聞く。

答 来年 9 月を予定している兼六小学校の移転後の跡地等の利活用は、現在、庁内で検討しており、今後、地元の意見等を聞きながら進めていく。認定こども園と児童クラブ等が入居する第三善隣館の建て替え時の仮設園舎としての利用については、法人側と協議していく。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 尊経閣文庫の誘致について
- 2 金沢方式の抜本的見直しについて
- 3 金沢方式消防団について
- 4 公共施設の整備と適正配置
- 5 現兼六小学校舎活用について
- 6 旧馬場小学校舎と跡地
- 7 キャンプ場について



創生かなざわ
高務 淳弘 議員



単独の売買が難しい宅地の流通について

問 相続により得られた売買が難しい狭小な空き家や宅地等の活用について、本市としてどのような取組をしているのか。

答 単独での利用が難しい宅地については、隣地と一体での利用が有効と考えている。一体利用する場合に必要な測量費や登記費用などの支援制度を今年度新設しており、既に 3 件の利用がある。(都市整備局長)

空家等管理活用支援法人について

問 空家等管理活用支援法人の指定は空き家の魅力的な活用を推進するために重要だが、本市での支援法人指定に際し、どんな課題があるのか。また、課題を踏まえた方針はいつ頃決定されるのか。

答 本市では既に 11 の専門団体と空き家等活用・流通促進体制に関する協定を締結しており、支援法人の指定に当たり、既存体制との整合や役割分担の整理が課題だと考えている。現在進行中の本市空き家等管理活用計画の改定作業の中で課題の整理や、これまでの施策の検証を行うとともに、他都市や民間法人の取組の調査を踏まえ、来年度のなるべく早期に支援法人の役割について方針を示し、その後指定する。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 令和 6 年度秋冬定期接種について
- 2 マイナンバーカードについて
- 3 空き家対策について



自由民主党金沢市議員会
道上 周太 議員



ふるさと納税を活用したこども施策について

問 金沢らしい特色のある独自のこども施策をさらに充実させていくために、ふるさと納税の新たな活用の選択肢として「金沢の文化を担う人づくり」、「文化・スポーツ施設の再整備」に加えて、「未来を創るこどもたちへの応援」などを追加してはどうか。

答 多くの人に本市の取組を応援してもらうためには、文化・スポーツをはじめ、寄附者にとってより魅力的な、金沢の特色を生かした取組が重要と考える。寄附金の使途の拡充については、こうしたことを含め慎重に検討していく。
(市長)

歩道、横断歩道のグリーン化について

問 こどもたちの安全・安心を守るために、歩道や横断歩道のグリーン化を重点的に進めてはどうか。また、本市として通学路の範囲など、グリーン化をしていく上での一定基準を定める考えはないか。

答 設置箇所を通学路等に限定した「グリーンベルトや横断歩道のグリーン化に関する設置基準」を本年8月末に策定した。設置基準を基に、町会や学校、警察などの関係機関と協議しながら、歩道のグリーンベルトや横断歩道のグリーン化を進めて児童・生徒の通学時の安全確保に努めていく。
(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 こども、若者の第3の居場所づくりについて
- 2 被災したこども達の支援について
- 3 ふるさと納税を活用したこども施策について
- 4 歩道、横断歩道のグリーン化について
- 5 災害時の踏切について



日本共産党金沢市議員団
山下 明希 議員



学びの多様化学校設置について

問 学びの多様化学校の設置に当たり、子どもの声、特に当事者である不登校児童・生徒、保護者の声を聞くことが必要であり、そうした機会の設定を求めるが、どうか。

答 2回目の学びの多様化学校設置検討委員会において、検討課題の中に、本市における不登校の実態や実情を把握した上で、子どもの視点を持って学習内容等を検討していく必要があるという意見が出されている。不登校児童・生徒やその保護者の意見を聞く機会については、既に学びの多様化学校を設置している自治体の取組を参考に研究していく。
(教育長)

市営住宅改築に伴う入居者の移転補償について

問 移転費用が工面できないという相談が寄せられており、移転完了届提出後に移転補償費を受けても引っ越し業者の支払いに間に合わないため、移転完了届提出前でも移転補償費の支払いをするなどの柔軟な対応を求めるが、どうか。

答 引っ越し等の費用については、金沢市社会福祉協議会の生活福祉資金貸付制度の利用を案内しており、入居者が不安を感じないよう丁寧に対応していく。
(都市整備局長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 子どもの声をきく取組について
- 2 国民健康保険について
- 3 新型コロナウイルス感染症の対応について
- 4 市営住宅について



みらい金沢
坂本 順子 議員



小中学校の校内教育支援センターについて

問 今年度、別室登校児童・生徒の学習環境を確保するため、中学校では校内教育支援センターの支援員の派遣人数及び時間の拡充を行ったが、その評価と、今後、小学校でも支援員を増員していく予定はないのか聞く。

答 全ての中学校において、登校時から下校時まで支援員による対応を可能とするため、支援員の増員と配置時間の拡充を図ったが、現在一部支援員が不足している状況であるため、早期改善を図っていく。生徒一人一人に配慮した学習支援や教育相談などこれまで以上に、より多様な支援を行うことができたと評価している。今後は小学校においても、不登校児童に対する支援体制の充実を図っていきたい。
(教育長)

病児・病後児保育について

問 病児・病後児保育は、共働き家庭や独り親家庭にとって子育ての重要な支援サービスだが、その充実について見解を聞く。

答 病児・病後児保育は、子どもを安心して預けられ、仕事と子育てを両立できる非常に大切な保育サービスである。現在、受入れ施設の地域偏在が課題であり、今後、医療機関の協力の下、病児・病後児保育の拡充と環境整備を検討していく。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 教育について
夏休み期間中の学校図書館開放について / 水泳授業について / 校内教育支援センターについて / 日本語指導教室の拡充 / 自転車通学の駐輪場の整備について / 小中学校教員支援員派遣事業について
- 2 子育て支援について
ベビー用おむつ自動販売機の設置 / 公共レンタルベビーカーの復活 / 病児・病後児保育について
- 3 民生委員・児童委員について
現状について / 支援について



金沢さくら会
清水 邦彦 議員



復興基金について

問 石川県が創設した総額570億円の復興基金は、国の補助金の支給要件に該当しない事業に使える復興基金から約127億円を取り崩すとのことである。本市分を今補正予算で令和6年能登半島地震復興基金積立金として2億9,600万円余を計上しているが、どんな活用方針の下、どんな事業と施策に反映させていくのか。

答 市の裁量により地域の実情に応じ被災者支援に活用できるものである一方、支援制度の隙間を埋める支援策にする必要があるため、県が実施する基金事業の動向を注視しながら適切な時期を捉えて具体的な支援策を講じる。まず、複数年度活用を可能にする新たな基金を設置し、全額積み立てる。
(市長)

能登半島地震による被災地復旧について

問 能登半島地震により、本市の大規模な盛土造成地では大きな揺れが新たな地盤の亀裂や滑動を発生させ、生活に支障が出る建物被害が生じているが、対応と復旧の取組を聞く。

答 測量・土質調査や工法の検討結果に基づき、地元と合意形成を図りながら、来年度以降の対策実施に向け準備する。
(市長)

【質問事項】（一括質問方式）

- 1 地震情報について
- 2 復興基金について
- 3 能登半島地震による本市の被災地域復旧について
- 4 森林環境税について
- 5 有機フッ素化合物について
- 6 森本地区公共施設あり方検討調査について
- 7 金沢テクノパークについて



みらい金沢
森 一敏 議員



国連子どもの権利に関する条約批准 30 年に 当たって

問 本市子ども条例は、子どもを大切に思う地域住民も参加する熱心な検討から生まれた条例だが、子どもを権利の主体とする考え方や、子どもの意見表明・参加についての規定がない。子ども条例を磨き上げ、改定作業に子どもの参加を促すことを検討してはどうか。

答 金沢子ども条例の基本理念には、子どもの人格の尊重、子どもが社会で保障されるべき権利を有していると明記している。金沢子どもを育む行動計画についても、子どもの人権や多様性を尊重する視点を盛り込み昨年 3 月に改定した。現在、条例改正や新たな権利条例制定は考えていないが、今後とも子どもたちの意見を大切にしながら、教育活動の充実に取り組みたい。(市長)

金沢市における緑の保全と生物多様性について

問 本市の豊かな森の残る環境に子どもの冒険遊び場・子どもプレーパークを開設できたら素晴らしい。大乘寺丘陵公園に拠点型の子どもプレーパーク設置の検討を始めてはどうか。

答 プレーパークは非常に夢のあるものだが、木を切ったり、火を使うなど禁止事項がない自由な遊び場であるので、子どもの健全育成では有意義だが、運営については、プレーワーカーやスタッフの確保などの課題もある。今後、公園以外での適地確保や運営を担う人材の確保などの課題を整理しながら研究していきたい。(市長)

【質問事項】(一問一答方式)

- 1 国連子どもの権利に関する条約批准 30 年に当たって
- 2 金沢市における緑の保全と生物多様性について
- 3 市民のつぶやきから「クーリングシェルターを身近な地域に」の声



自由民主党金沢市議員会
高 誠 議員



手話通訳職員について

問 能登半島地震の避難者の中には社会的弱者が多数いるが、本市においては人口規模に対する手話通訳職員が少ないと感じている。手話通訳職員の必要性と今後の採用計画について聞く。

答 手話は、生活する上で欠かすことのできない言語の一つと捉えている。近年窓口において手話通訳が必要な相談が増えていることから、ニーズを踏まえた採用に取り組む。(市長)

富岡市との交流について

問 加賀藩前田家にゆかりのある富岡市とは平成 14 年以降 20 年を超える交流の歴史を持つが、富岡市との交流都市協定締結の考えを聞く。

答 交流都市協定締結には民間交流をさらに広げていく必要がある。七日市藩との間で紡いできた前田家との歴史などを踏まえ、将来的な交流都市の締結も視野に入れて交流の拡大・発展について引き続き協議を進めていく。(市長)



加賀百万石前田家の支藩 七日市藩の陣屋跡

【質問事項】(一括質問方式)

- 1 能登半島地震からの復旧復興について
これまでの取組について / 能登半島地震課題検証会議について / 手話通訳職員について / 盛土対策について / 道路・歩道等の普及について
- 2 都市間交流事業について
実績と効果について / 富岡市との交流について
- 3 カスタマーハラスメント対策について
カスハラの実態と相談窓口など本市の取組について

令和6年度 金沢市議会 9月定例月議会 審議結果

■賛否などの態度が分かれた議案等（ ）については、議員別賛否一覧をご覧ください。

※審議結果は、金沢市議会ホームページからもご覧になれます。

9月定例月議会の議案

議案番号	件名	本会議の結果	
------	----	--------	--

◇ 市長提出（議案 23件）

議案第23号	令和6年度金沢市一般会計補正予算（第2号）	可 決	賛成多数
議案第24号	令和6年度金沢市国民健康保険費特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第25号	令和6年度金沢市後期高齢者医療費特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第26号	令和6年度金沢市介護保険費特別会計補正予算（第1号）	可 決	全会一致
議案第27号	令和6年度金沢市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	全会一致
議案第28号	金沢市税賦課徴収条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第29号	金沢市手数料条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第30号	金沢市国民健康保険条例の一部改正について	可 決	賛成多数
議案第31号	金沢市空き家等の適切な管理及び活用の推進に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第32号	金沢市地区計画等の区域内における建築物等の制限に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第33号	工事請負契約の締結について（金沢市第一本庁舎及び金沢市役所・美術館駐車場照明LED化工事）	可 決	全会一致
議案第34号	工事請負契約の締結について（金沢市立森本地区新保育所建設工事（建築工事））	可 決	全会一致
議案第35号	工事請負契約の締結について（金沢市東斎場火葬棟増築工事（建築工事））	可 決	全会一致
議案第36号	財産の取得について（機械式ごみ収集車）	可 決	全会一致
議案第37号	財産の処分について	可 決	全会一致
議案第38号	事務の相互委託の廃止について	可 決	全会一致
議案第39号	町及び字の区域の変更について（南広岡町）	可 決	全会一致
議案第40号	市道の路線認定について	可 決	全会一致
議案第41号	市道の路線廃止について	可 決	全会一致
議案第42号	市道の路線変更について	可 決	全会一致
議案第44号	令和6年度金沢市一般会計補正予算（第3号）	可 決	全会一致
議案第45号	金沢市の基金の設置及び管理に関する条例の一部改正について	可 決	全会一致
議案第46号	金沢市教育委員会委員の任命につき同意を求めるについて	同 意	全会一致

◇ 議員提出（議案 13件）

議会議案第11号	北陸新幹線の大阪までの早期全線整備を求める決議	可 決	賛成多数
議会議案第12号	喜成清恵議員に対する議員辞職勧告決議	可 決	全会一致
議会議案第13号	新型コロナウイルスワクチンの任意接種への変更とワクチンの情報について国民に対して十分な周知を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第14号	マイナンバー制度見直しに関する意見書	否 決	賛成少数
議会議案第15号	訪問介護費の引下げ見直しと介護報酬引上げの再改定を早急に行うよう求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第16号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第17号	選択的夫婦別姓制度の議論の活性化を求める意見書	否 決	賛成少数
議会議案第18号	部活動の地域移行に向けた中学校学習指導要領の改訂について具体的な検討を求める意見書	可 決	賛成多数
議会議案第19号	国の全額負担による学校給食費の無償化制度の実施を求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第20号	ひきこもり支援に関する法整備を求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第21号	刑事訴訟法の再審規定の速やかな改正を求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第22号	民生委員・児童委員制度の改善を求める意見書	可 決	全会一致
議会議案第23号	自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書	可 決	全会一致

◇ 請願（1件）

請願第6号	精神障害者保健福祉手帳2級所持者に対する心身障害者医療費助成制度の適用拡充を求める請願書	採 択	全会一致
-------	--	-----	------

常任委員会の活動状況

金沢市議会では5つの常任委員会を設けており、提出された議案の審査を行うほか、市政についての課題等を調査しています。

委員会名	開催日	主な報告事項
総務常任委員会	8月9日	・第1回金沢方式あり方検討懇話会の開催結果について ・都市再生緊急整備地域の指定に向けた検討状況について
	9月13日	・地域おこし協力隊の着任及び募集について ・令和6年度金沢市中期財政計画
経済環境常任委員会	8月16日	・全日本高校生 WASHOKU グランプリ 2024 決勝大会の結果について ・イベントごみの減量化・資源化について
	9月13日	・金沢市出身の偉人をゆかりとした台湾との交流促進について ・金沢市中央卸売市場再整備基本設計の進捗状況について
市民福祉常任委員会	8月16日	・おくやみ手続案内窓口サービスの充実について ・ホスピタリティアート・プロジェクトの実施について
	9月13日	・スマートフォンアプリによる「かなざわ健康ポイント」の提供開始について ・金沢版子ども宅食推進事業の実施状況について
建設企業常任委員会	8月8日	・「木の文化都市・金沢」に関する情報発信の取組について（「木の場－KINOBA－」の設置） ・宅地造成及び特定盛土等規制法（通称：盛土規制法）に基づく規制区域（案）に係る意見公募について
	9月13日	・「令和6年能登半島地震」で被災した田上新町地内の道路復旧について ・金沢エネルギー株式会社の経営状況等の確認について
文教消防常任委員会	8月9日	・「モルック震災復興なおオープン」の開催について ・金沢市学校給食費懇話会の開催について
	9月13日	・金沢21世紀美術館 開館20周年記念事業について ・令和7年度から10年度使用金沢市立中学校教科用図書の新採択について

各常任委員会では、議会活動の一層の充実を図り、本市のまちづくりに役立てるため、他都市への行政視察を行っています。今年度は、以下のとおり行われました。

委員会名	視察日	視察市	視察項目
総務常任委員会	7月29日 ～ 7月31日	鹿児島市	・鹿児島中央駅周辺のまちづくりについて
		都城市	・ふるさと納税について
		神戸市	・歴史的建造物の保存・活用について
経済環境常任委員会	7月22日 ～ 7月24日	上田市	・脱炭素先行地域モデル都市に選定された取組の概要について
		江東区	・豊洲市場の取組について
		札幌市	・札幌市産業振興ビジョンと札幌未来牽引企業創出事業について
市民福祉常任委員会	7月1日 ～ 7月3日	神戸市	・神戸市国民健康保険第3期データヘルス計画について
		足立区	・認定NPO法人カタリバの活動について
		稲城市	・認知症と向き合う「幸齢社会」実現に向けた取組について
建設企業常任委員会	7月22日 ～ 7月24日	仙台市	・下水道事業での「地中可視化サービス」の成果について
		郡山市	・「ココナビこおりやま」による市民投稿型の道路等の破損状況収集について
		宇都宮市	・施工管理業務等へのウエアラブル端末等の導入について
文教消防常任委員会	7月22日 ～ 7月24日	高崎市	・高崎アリーナについて
		札幌市	・市立札幌開成中等教育学校について
		千歳市	・北海道胆振東部地震の復旧・復興について
議会広報委員会	8月19日	相模原市	・大学との連携（ポスター等）について
	8月20日	静岡市	・高校生意見交換会・子ども模擬議会について

委員会構成

決算審査特別委員会の設置

9月定例会月議会において、決算審査特別委員会が設置されました。

◇一般会計等決算審査特別委員会（定数8）

【委員長】前 誠一 【副委員長】新谷 博範

【委員】道上 周太、柿本 章博、山本ひかる、高務 淳弘、山下 明希、坂本 順子

◇企業会計決算審査特別委員会（定数8）

【委員長】麦田 徹 【副委員長】熊野 盛夫

【委員】宇冢 裕基、黒口啓一郎、川島 美和、大西 克利、北 幸裁、森尾 嘉昭

特別委員会の活動状況

金沢市議会では特定のテーマを調査するため、令和6年度は3つの特別委員会を設けています。各委員会に付託された調査事項について、執行部からの説明や参考人からの意見聴取等を行い、調査を行っています。

委員会名	調査テーマ
都心軸再整備特別委員会	◇都市再生緊急整備地域の指定に向けた地域整備方針（素案）の策定について
防災・復興特別委員会	◇令和6年能登半島地震の経過を踏まえた本市における今後の大規模災害への備えについて
公共交通特別委員会	◇2024年問題等を見据えた行政と交通事業者との共創の在り方について

委員会名	開催日	主な事項
都心軸再整備特別委員会	6月4日	テーマ及びスケジュールの協議
	7月3日	企画調整課、都市計画課、景観政策課、市街地再生課からの意見聴取
	7月19日	参考人招致及び視察先について協議
	8月23日	行政視察（松山市） ・都市再生緊急整備地域の指定に向けた地域整備方針の策定について
防災・復興特別委員会	6月4日	テーマ及びスケジュールの協議
	7月12日	危機管理課、建築指導課から意見聴取
	8月9日	参考人招致及び視察先について協議
公共交通特別委員会	6月4日	テーマ及びスケジュールの協議
	6月11日	議長交代に伴う委員長互選
	7月4日	交通政策課から意見聴取

子ども議会教室を開催しました

金沢市議会では、議会への興味や関心を持っていただくため、金沢市在住の小学校5年生及び6年生の児童とその保護者を対象とした子ども議会教室を開催しています。今年は8月1日(木)、6日(火)に開催しました。

2日間で計39組の親子に参加いただき、参加者全員で議会の基本について勉強した後、「議会フロアを探検しよう」では、3つのグループに分かれて議長室や副議長室、議場など議会フロアを探検しました。「議員を体験してみよう」では、子ども議員が市議会議員に対して委員会室で本番さながらに質問する議員体験を行いました。

子ども議員からは「どうして議員になろうと思ったんですか」や「議員になってよかったと思うことはどんなことですか」、「未来を拓く世界の共創文化都市・金沢を実現するために例えばどんなことをしていますか」など、さまざまな質問が出され、それらの質問に対して市議会議員が一つ一つ丁寧に答え

ました。

終了後の児童からのアンケートでは、「議員はカッコいい仕事をしている人だと思った」、「知らないことがいっぱい勉強できた」などの声がありました。

また、保護者からのアンケートでは、「議員さんの声や働いている様子などを知ることができ、市議会に興味湧き、とても良い経験になった」や「議会について大人の私でも知らないことも多く、勉強になった」、「ふだん議員の方と話す機会がないが、皆さんが気さくで話しやすい方々でびっくりした」などの声がありました。

これらのアンケート結果や参加した市議会議員の意見を踏まえ、議会広報委員会において今年度の子ども議会教室の内容について検証し、今後の活動につなげてまいります。

ご応募いただいた皆様、また、ご参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



議長室



議場見学



副議長室



議員体験

議会日誌

7月

- 3日 都心軸再整備特別委員会
- 4日 公共交通特別委員会
- 12日 防災・復興特別委員会
- 18日 議会広報委員会
- 19日 都心軸再整備特別委員会
- 25日 議会広報委員会

8月

- 2日 議会運営委員会
- 8日 建設企業常任委員会
- 9日 総務常任委員会、文教消防常任委員会、防災・復興特別委員会
- 16日 経済環境常任委員会、市民福祉常任委員会
- 26日 議会運営委員会

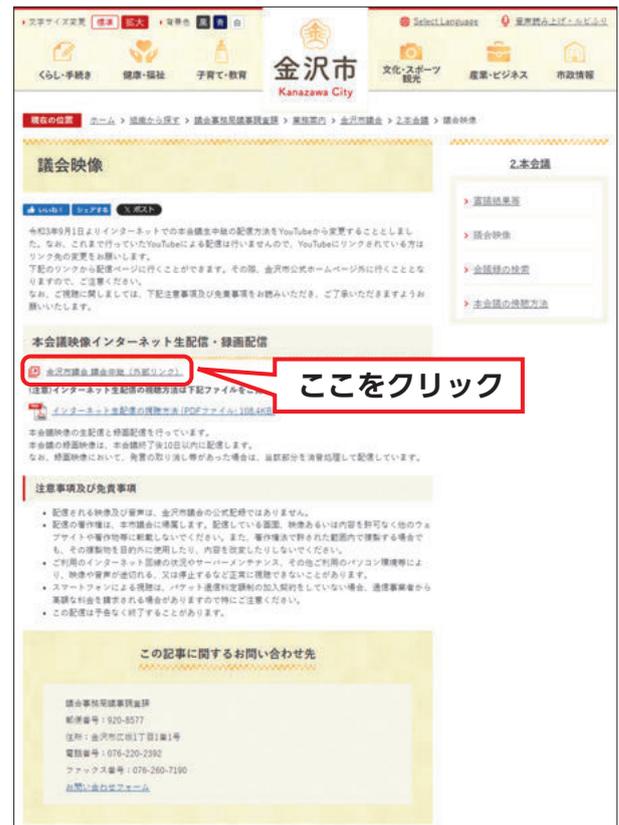
9月

- 2日 **金沢市議会9月定例会議会初日**
本会議（議案上程・提案理由説明）、議会広報委員会
- 4日 議会運営委員会
- 9日 議会運営委員会
- 10日 本会議
（議案上程・提案理由説明、質疑・一般質問）
- 11日 本会議（質疑・一般質問）
- 12日 本会議（質疑・一般質問）、
一般会計等決算審査特別委員会、
企業会計決算審査特別委員会、
議会運営委員会
- 13日 各常任委員会、議会運営委員会
- 17日 **金沢市議会9月定例会議会最終日**
本会議（討論・採決）

議会インターネット生中継

～ぜひ、生中継や録画映像をご覧ください～

- 金沢市議会ではホームページの下記二次元バーコードのページより、本会議の映像をインターネット生配信しております。詳しくは下記ページの視聴方法をご覧ください。



12月定例会議会の日程(予定)

12月3日(火)	本会議（提案理由説明）
11日(水)	本会議（質疑・一般質問）
12日(木)	本会議（質疑・一般質問）
13日(金)	本会議（質疑・一般質問）
16日(月)	委員会審査
17日(火)	本会議（討論・採決）

※日程は変更することがあります。

議会広報委員会

- 【委員長】 麦田 徹 【副委員長】 坂本 順子
 【委員】 宇野 裕基 山本ひかる 山下 明希
 熊野 盛夫